

【表紙】

【提出書類】	四半期報告書
【根拠条文】	金融商品取引法第24条の4の7第1項
【提出先】	関東財務局長
【提出日】	2020年8月11日
【四半期会計期間】	第55期第3四半期（自 2020年4月1日 至 2020年6月30日）
【会社名】	株式会社マミーマート
【英訳名】	Mammy Mart Corporation
【代表者の役職氏名】	代表取締役社長 岩崎 裕文
【本店の所在の場所】	埼玉県東松山市本町2丁目2番47号 （同所は登記上の本店所在地であり、実際の業務は下記「最寄りの連絡場所」で行っております。）
【電話番号】	該当事項はありません。
【事務連絡者氏名】	該当事項はありません。
【最寄りの連絡場所】	埼玉県さいたま市北区宮原町2丁目44番1号
【電話番号】	048(654)2511
【事務連絡者氏名】	財務部長 岩本 潤
【縦覧に供する場所】	株式会社東京証券取引所 （東京都中央区日本橋兜町2番1号）

## 第一部【企業情報】

### 第1【企業の概況】

#### 1【主要な経営指標等の推移】

回次	第54期 第3四半期連結 累計期間	第55期 第3四半期連結 累計期間	第54期
会計期間	自2018年10月1日 至2019年6月30日	自2019年10月1日 至2020年6月30日	自2018年10月1日 至2019年9月30日
売上高 (百万円)	81,709	91,893	108,945
経常利益 (百万円)	2,034	4,244	2,118
親会社株主に帰属する四半期当期純利益 (百万円)	1,295	2,731	697
四半期包括利益又は包括利益 (百万円)	1,209	2,768	583
純資産額 (百万円)	24,497	25,964	23,871
総資産額 (百万円)	56,165	56,307	55,119
1株当たり四半期当期純利益金額 (円)	120.05	256.10	64.59
潜在株式調整後1株当たり四半期(当期)純利益金額 (円)	-	-	-
自己資本比率 (%)	43.6	46.1	43.3

回次	第54期 第3四半期連結 会計期間	第55期 第3四半期連結 会計期間
会計期間	自2019年4月1日 至2019年6月30日	自2020年4月1日 至2020年6月30日
1株当たり四半期純利益金額 (円)	30.91	136.79

- (注) 1. 当社は四半期連結財務諸表を作成しているため、提出会社の主要な経営指標等の推移については記載しておりません。
2. 売上高には、消費税等は含まれておりません。
3. 潜在株式調整後1株当たり四半期(当期)純利益金額については、潜在株式が存在しないため、記載しておりません。

#### 2【事業の内容】

当第3四半期連結累計期間において、当社グループ(当社及び当社の関係会社)が営んでいる事業の内容に重要な変更はありません。また、主要な関係会社における異動もありません。

## 第2【事業の状況】

### 1【事業等のリスク】

当第3四半期連結累計期間において、新たな事業等のリスクの発生、または、前事業年度の有価証券報告書に記載した事業等のリスクについての重要な変更はありません。

なお、当第3四半期連結累計期間における新型コロナウイルス感染症拡大の影響は、「2 経営者による財政状態、経営成績及びキャッシュ・フローの状況の分析 (1) 財政状態及び経営成績の状況」に記載のとおりですが、今後の経過によっては当社グループの財政状態及び経営成績に影響を及ぼす可能性があります。

### 2【経営者による財政状態、経営成績及びキャッシュ・フローの状況の分析】

#### (1) 財政状態及び経営成績の状況

当社グループ(当社及び連結子会社)は「Enjoy Life!」を基本方針として「お客様に満足いただける持続的な成長店舗作り」をメインテーマに、「基盤の整備」、「人財育成」、「生産性改善」、「商品力強化」の4つの重点項目に施策を進め、消費者の多様なニーズに対応し、更なる業績拡大へ繋げてまいりました。

当第3四半期連結累計期間の小売業を取り巻く経営環境は、新型コロナウイルス感染症拡大の影響から、消費者の節約志向の高まり、利便性優先の購買行動への変化による業種・業態を超えた競合の発生など、厳しい状況が続いておりますが、当社は「より良い商品をより安く」の企業理念のもと、「全力家計応援」を掲げ、ベーシック商品の持続的な低価格での提供を実行し、在宅率の高まりによる内食需要に应运えまいりました。

また、新型コロナウイルス感染症への対策と致しまして、従業員の感染予防対策(マスクの着用、手洗い、消毒、毎日の健康状態のチェック、衛生管理の徹底)と売場での感染予防対策(アルコール消毒液の設置、レジへの透明間仕切り設置、レジにてお待ちいただくお客様への間隔確保案内等)といった取り組みを徹底し、3密を避けた営業を続け、地域のライフラインとしての役割を再認識し、お客様が安心・安全にお買物できるよう取り組んでまいりました。

#### [ 基盤の整備 ]

店舗の積極的な改装に着手し、既存店舗の活性化を進めております。この一環として、タブレット、ネットワーク環境の整備といった設備更新、セミセルフレジの導入とともに、時間帯別人員配置の適正化、商品回転率・鮮度の向上、品切れ防止を重視した売場展開を実現し、基盤の整備を進めてまいりました。

#### [ 人財育成 ]

「M3プロジェクト」(改善活動)では、推進の一環として全従業員が「主体的に」日々の課題や問題点を解決・改善へとつなげていくことで、やりがいや達成感を感じられる社内制度、環境づくりを目指しております。今後はこの活動を従業員の取り組みを重視した新たな人事評価制度にも反映させ、積極的な人財育成を実施してまいります。

また、マニュアル改定を全部署で進め、業務を細分化して学ぶことができる社内教育環境の形成へと役立ててまいります。

#### [ 生産性改善 ]

効率の良い店舗運営を目指し、単品量販型の売場づくりや作業工数の少ない陳列什器の導入をはじめとした店舗改装、新規出店での新たな取り組みを既存の店舗へも導入し、更なる生産性向上を実現する店舗モデルを構築する事を目的に社内プロジェクトを発足し、その取り組みを進めてまいりました。

#### [ 商品力強化 ]

「おいしい健康を咲かせよう」を合言葉に、素材から製法、機能性などにこだわった商品をお値打価格で提供する当社オリジナル商品の開発に取り組んでおり、継続してプライベートブランド品の拡大に努めてまいります。

また、生鮮部門では産地との直接取引により、味と鮮度の向上に継続して取り組んでまいります。

設備投資としましては、マミーマーケットにおきまして、2020年6月に船橋日大駅前店(千葉県船橋市)を改装いたしました。当四半期の店舗数は、温浴事業・葬祭事業を含め78店舗であります。

(注)・「Enjoy Life !」は、お客様に毎日の食生活を通じて健康で充実した人生を楽しんでいただくことを目的とした、当社グループ独自のコンセプトです。

・「M3」とは、My Mami Martの略です。企業理念の実現に向けた全従業員参加型の社内改善プロジェクトです。

#### 財政状態

当第3四半期連結会計期間末における総資産は、前連結会計年度末より1,187百万円増加し56,307百万円となりました。これは主に、リース資産の増加によるものであります。

負債は、前連結会計年度末より905百万円減少し30,342百万円となりました。これは主に、借入金の減少によるものであります。

純資産は、前連結会計年度末より2,092百万円増加し25,964百万円となりました。これは主に、親会社株主に帰属する四半期純利益の計上によるものであります。

#### 経営成績

当第3四半期連結累計期間の連結営業成績は、売上高91,893百万円（前年同期比12.5%増）、営業利益3,949百万円（同131.2%増）、経常利益4,244百万円（同108.6%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益2,731百万円（同110.8%増）となりました。

セグメント別の営業の状況は以下のとおりです。

##### [ スーパーマーケット事業 ]

当第3四半期連結累計期間は、売上高91,589百万円（前年同期比12.6%増）、セグメント利益3,951百万円（同136.0%増）となりました。

##### [ その他の事業 ]

売上高304百万円（前年同期比20.5%減）、セグメント損失 2百万円（前年同期は33百万円の利益）となりました。

#### (2) 経営方針・経営戦略等

当第3四半期連結累計期間において、当社グループが定めている経営方針・経営戦略等に重要な変更はありません。

#### (3) 事業上及び財務上の対処すべき課題

当第3四半期連結累計期間において、事業上及び財務上の対処すべき課題に重要な変更及び新たに生じた課題はありません。

#### (4) 研究開発活動

該当事項はありません。

#### (5) 経営成績に重要な影響を与える要因

重要な変更及び新たに生じた課題はありません。

#### (6) 資本の財源及び資金の流動性に係る情報

当社グループの資金状況は、主として営業活動により得られた資金のほか、金融機関からの借入により必要資金を調達しており、店舗の出店・改装等の設備資金や店舗運営費、販売費及び一般管理費等の運転資金需要に対応しております。

### 3【経営上の重要な契約等】

当第3四半期連結会計期間において、経営上の重要な契約等の決定または締結等はありません。

### 第3【提出会社の状況】

#### 1【株式等の状況】

##### (1)【株式の総数等】

###### 【株式の総数】

種類	発行可能株式総数(株)
普通株式	18,850,500
計	18,850,500

###### 【発行済株式】

種類	第3四半期会計期間末 現在発行数(株) (2020年6月30日)	提出日現在発行数(株) (2020年8月11日)	上場金融商品取引所名 又は登録認可金融商品 取引業協会名	内容
普通株式	10,796,793	10,796,793	東京証券取引所 JASDAQ (スタンダード)	単元株式数 100株
計	10,796,793	10,796,793	-	-

##### (2)【新株予約権等の状況】

###### 【ストックオプション制度の内容】

該当事項はありません。

###### 【その他の新株予約権等の状況】

該当事項はありません。

##### (3)【行使価額修正条項付新株予約権付社債券等の行使状況等】

該当事項はありません。

##### (4)【発行済株式総数、資本金等の推移】

年月日	発行済株式 総数増減数 (株)	発行済株式 総数残高 (株)	資本金増減額 (百万円)	資本金残高 (百万円)	資本準備金 増減額 (百万円)	資本準備金 残高 (百万円)
2020年4月1日～ 2020年6月30日	-	10,796,793	-	2,660	-	2,856

##### (5)【大株主の状況】

当四半期会計期間は第3四半期会計期間であるため、記載事項はありません。

(6) 【議決権の状況】

当第3四半期会計期間末日現在の「議決権の状況」については、株主名簿の記載内容が確認できないため、記載することができないことから、直前の基準日（2020年3月31日）に基づく株主名簿による記載をしております。

【発行済株式】

2020年6月30日現在

区分	株式数(株)	議決権の数(個)	内容
無議決権株式	-	-	-
議決権制限株式(自己株式等)	-	-	-
議決権制限株式(その他)	-	-	-
完全議決権株式(自己株式等)	普通株式 162,900	-	-
完全議決権株式(その他)	普通株式 10,629,900	106,299	-
単元未満株式	普通株式 3,993	-	-
発行済株式総数	10,796,793	-	-
総株主の議決権	-	106,299	-

(注) 「単元未満株式」欄の普通株式には、当社所有の自己株式55株が含まれております。

【自己株式等】

2020年6月30日現在

所有者の氏名 又は名称	所有者の住所	自己名義所有 株式数(株)	他人名義所有 株式数(株)	所有株式数の 合計(株)	発行済株式総数に 対する所有株式数 の割合(%)
株式会社マミーマーケット	埼玉県東松山市 本町2丁目2番47号	162,900	-	162,900	1.51
計	-	162,900	-	162,900	1.51

(注) 当第3四半期会計期間末の自己株式数は163,002株であります。

2 【役員】の状況】

前事業年度の有価証券報告書提出日後、当四半期累計期間における役員の異動は、次のとおりであります。

役職の異動

新役職名	旧役職名	氏名	異動年月日
取締役執行役員 総合企画室長兼営業戦略室長	取締役執行役員 営業戦略室長兼情報システム部管 掌	青木 繁	2019年12月20日
取締役執行役員 販売事業部長兼情報システム部管 掌	取締役執行役員 販売事業部長	木場田 裕樹	2019年12月20日
取締役執行役員 統括経営監査部長兼財務部管掌	取締役執行役員 統括経営監査部長	西村 元一	2019年12月20日
常務取締役	常務取締役執行役員 精肉MD再構築プロジェクト リーダー	秋葉 和夫	2020年5月1日

## 第4【経理の状況】

### 1．四半期連結財務諸表の作成方法について

当社の四半期連結財務諸表は、「四半期連結財務諸表の用語、様式及び作成方法に関する規則」（平成19年内閣府令第64号）に基づいて作成しております。

### 2．監査証明について

当社は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、第3四半期連結会計期間（2020年4月1日から2020年6月30日まで）及び第3四半期連結累計期間（2019年10月1日から2020年6月30日まで）に係る四半期連結財務諸表について、監査法人アヴァンティアによる四半期レビューを受けております。

1【四半期連結財務諸表】

(1)【四半期連結貸借対照表】

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2019年9月30日)	当第3四半期連結会計期間 (2020年6月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	2,936	2,434
売掛金	1,289	1,671
商品	2,749	2,668
貯蔵品	15	13
その他	1,373	1,369
流動資産合計	8,364	8,157
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	11,779	11,802
機械装置及び運搬具(純額)	171	167
土地	20,868	20,837
リース資産(純額)	321	1,981
建設仮勘定	747	616
その他(純額)	1,254	1,474
有形固定資産合計	35,142	36,880
無形固定資産		
132	132	151
投資その他の資産		
投資有価証券	226	176
長期貸付金	240	215
差入保証金	7,481	7,147
賃貸不動産(純額)	366	394
繰延税金資産	2,336	2,323
その他	829	859
投資その他の資産合計	11,480	11,116
固定資産合計	46,755	48,149
資産合計	55,119	56,307



(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2019年9月30日)	当第3四半期連結会計期間 (2020年6月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	6,220	7,002
短期借入金	6,540	500
1年内返済予定の長期借入金	4,086	4,880
リース債務	158	243
未払費用	2,623	2,458
未払法人税等	341	1,059
賞与引当金	468	165
資産除去債務	98	11
その他	663	958
流動負債合計	21,200	17,281
固定負債		
長期借入金	4,864	6,430
リース債務	1,182	2,670
長期預り保証金	1,513	1,437
転貸損失引当金	16	-
役員退職慰労引当金	333	334
退職給付に係る負債	1,259	1,308
資産除去債務	836	840
その他	42	40
固定負債合計	10,048	13,061
負債合計	31,248	30,342
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,660	2,660
資本剰余金	2,861	2,861
利益剰余金	18,407	20,753
自己株式	2	292
株主資本合計	23,926	25,982
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	20	3
退職給付に係る調整累計額	55	44
その他の包括利益累計額合計	75	41
非支配株主持分	20	22
純資産合計	23,871	25,964
負債純資産合計	55,119	56,307

(2)【四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書】

【四半期連結損益計算書】

【第3四半期連結累計期間】

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2018年10月1日 至 2019年6月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2019年10月1日 至 2020年6月30日)
売上高	81,709	91,893
売上原価	60,261	67,808
売上総利益	21,447	24,084
営業収入	1,018	1,002
営業総利益	22,466	25,086
販売費及び一般管理費	20,758	21,137
営業利益	1,707	3,949
営業外収益		
受取利息	40	37
受取配当金	8	8
不動産賃貸料	197	150
受取手数料	157	167
その他	134	122
営業外収益合計	538	485
営業外費用		
支払利息	32	29
不動産賃貸費用	176	130
その他	3	30
営業外費用合計	211	190
経常利益	2,034	4,244
特別利益		
固定資産売却益	1	0
資産除去債務戻入益	-	20
特別利益合計	1	20
特別損失		
固定資産除却損	10	8
投資有価証券評価損	-	67
特別損失合計	10	76
税金等調整前四半期純利益	2,025	4,189
法人税等	726	1,415
過年度法人税等	-	40
四半期純利益	1,298	2,733
非支配株主に帰属する四半期純利益	3	1
親会社株主に帰属する四半期純利益	1,295	2,731

【四半期連結包括利益計算書】  
【第3四半期連結累計期間】

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2018年10月1日 至 2019年6月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2019年10月1日 至 2020年6月30日)
四半期純利益	1,298	2,733
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	95	23
退職給付に係る調整額	6	11
その他の包括利益合計	89	34
四半期包括利益	1,209	2,768
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	1,206	2,766
非支配株主に係る四半期包括利益	3	1

【注記事項】

(四半期連結財務諸表の作成にあたり適用した特有の会計処理)

(税金費用の計算)

税金費用については、当第3四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書関係)

当第3四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第3四半期連結累計期間に係る減価償却費(無形固定資産に係る償却費を含む。)は、次のとおりであります。

	前第3四半期連結累計期間 (自 2018年10月1日 至 2019年6月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2019年10月1日 至 2020年6月30日)
減価償却費	1,290百万円	1,321百万円

(株主資本等関係)

前第3四半期連結累計期間(自 2018年10月1日 至 2019年6月30日)

配当金支払額

決議	株式の種類	配当金の総額	1株当たり 配当額	基準日	効力発生日	配当の原資
2018年11月14日 取締役会	普通株式	107百万円	10.00円	2018年9月30日	2018年12月25日	利益剰余金
2019年5月15日 取締役会	普通株式	194百万円	18.00円	2019年3月31日	2019年6月17日	利益剰余金

当第3四半期連結累計期間(自 2019年10月1日 至 2020年6月30日)

1. 配当に関する事項

配当金支払額

決議	株式の種類	配当金の総額	1株当たり 配当額	基準日	効力発生日	配当の原資
2019年11月14日 取締役会	普通株式	194百万円	18.00円	2019年9月30日	2019年12月23日	利益剰余金
2020年5月14日 取締役会	普通株式	191百万円	18.00円	2020年3月31日	2020年6月15日	利益剰余金

2. 株主資本の金額の著しい変動

(自己株式の取得)

当社は、2019年11月14日開催の取締役会において、会社法第165条第3項の規定に読み替えて適用される同法第156条の規定に基づき自己株式を取得することについて決議し、第1四半期連結累計期間に次のとおり実施いたしました。なお、当該自己株式の取得は2019年11月15日をもって終了しております。

(1) 自己株式の取得を行った理由

企業価値及び株主価値向上について継続的に検討を行っており、当該検討に基づく施策の一環として、経営環境の変化に対応すること、また、当社グループの成長を促進するためのインセンティブ・プラン等、機動的な資本政策を可能とするため。

(2) 取得に係る事項の内容

取得した株式の種類	当社普通株式
取得した株式の総数	161,000株
株式の取得価額の総額	289,317,000円
取得日	2019年11月15日
取得方法	東京証券取引所の自己株式立会外買付取引(ToSTNeT-3)による買付け

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

前第3四半期連結累計期間(自 2018年10月1日 至 2019年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益または損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント	その他 (注1)	合計	調整額	四半期連結 損益計算書 計上額 (注2)
	スーパーマー ケット事業				
売上高					
外部顧客への売上高	81,326	382	81,709	-	81,709
セグメント間の内部 売上高または振替高	-	0	0	0	-
計	81,326	382	81,709	0	81,709
セグメント利益	1,674	33	1,707	-	1,707

(注)1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、温浴事業と葬祭事業であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。

当第3四半期連結累計期間(自 2019年10月1日 至 2020年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益または損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント	その他 (注1)	合計	調整額	四半期連結 損益計算書 計上額 (注2)
	スーパーマー ケット事業				
売上高					
外部顧客への売上高	91,589	304	91,893	-	91,893
セグメント間の内部 売上高または振替高	-	0	0	0	-
計	91,589	304	91,893	0	91,893
セグメント利益 又は損失( )	3,951	2	3,949	-	3,949

(注)1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、温浴事業と葬祭事業であります。

2. セグメント利益又は損失( )は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。

(1株当たり情報)

1株当たり四半期純利益金額及び算定上の基礎は、以下のとおりであります。

	前第3四半期連結累計期間 (自 2018年10月1日 至 2019年6月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2019年10月1日 至 2020年6月30日)
1株当たり四半期純利益金額	120円05銭	256円10銭
(算定上の基礎)		
親会社株主に帰属する四半期純利益金額 (百万円)	1,295	2,731
普通株主に帰属しない金額(百万円)	-	-
普通株式に係る親会社株主に帰属する四半期純 利益金額(百万円)	1,295	2,731
普通株式の期中平均株式数(千株)	10,794	10,666

(注) 潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額については、潜在株式が存在しないため、記載しておりません。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。

2【その他】

第55期(2019年10月1日から2020年3月31日まで)中間配当については、2020年5月14日開催の取締役会において、次のとおり決議いたしました。

- (イ) 配当金の総額 191百万円  
(ロ) 1株当たりの金額 18円00銭  
(ハ) 支払請求の効力発生日及び支払開始日 2020年6月15日

(注) 2020年3月31日現在の株主名簿に記載または記録された株主に対し、支払いを行います。

## 第二部【提出会社の保証会社等の情報】

該当事項はありません。

## 独立監査人の四半期レビュー報告書

2020年8月11日

株式会社マミーMarkt

取締役会 御中

### 監査法人アヴァンティア

指定社員 業務執行社員	公認会計士	木村直人	印
指定社員 業務執行社員	公認会計士	入澤雄太	印

当監査法人は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、「経理の状況」に掲げられている株式会社マミーMarktの2019年10月1日から2020年9月30日までの連結会計年度の第3四半期連結会計期間（2020年4月1日から2020年6月30日まで）及び第3四半期連結累計期間（2019年10月1日から2020年6月30日まで）に係る四半期連結財務諸表、すなわち、四半期連結貸借対照表、四半期連結損益計算書、四半期連結包括利益計算書及び注記について四半期レビューを行った。

#### 四半期連結財務諸表に対する経営者の責任

経営者の責任は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して四半期連結財務諸表を作成し適正に表示することにある。これには、不正又は誤謬による重要な虚偽表示のない四半期連結財務諸表を作成し適正に表示するために経営者が必要と判断した内部統制を整備及び運用することが含まれる。

#### 監査人の責任

当監査法人の責任は、当監査法人が実施した四半期レビューに基づいて、独立の立場から四半期連結財務諸表に対する結論を表明することにある。当監査法人は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期レビューの基準に準拠して四半期レビューを行った。

四半期レビューにおいては、主として経営者、財務及び会計に関する事項に責任を有する者等に対して実施される質問、分析的手続その他の四半期レビュー手続が実施される。四半期レビュー手続は、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に準拠して実施される年度の財務諸表の監査に比べて限定された手続である。

当監査法人は、結論の表明の基礎となる証拠を入手したと判断している。

#### 監査人の結論

当監査法人が実施した四半期レビューにおいて、上記の四半期連結財務諸表が、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して、株式会社マミーMarkt及び連結子会社の2020年6月30日現在の財政状態及び同日をもって終了する第3四半期連結累計期間の経営成績を適正に表示していないと信じさせる事項がすべての重要な点において認められなかった。

#### 利害関係

会社と当監査法人又は業務執行社員との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。

以上

- 
- (注) 1. 上記は四半期レビュー報告書の原本に記載された事項を電子化したものであり、その原本は当社（四半期報告書提出会社）が四半期連結財務諸表に添付する形で別途保管しております。
2. X B R L データは四半期レビューの対象には含まれておりません。